

Vol.02 防犯に関する母親の意識調査

子どもが犯罪に巻き込まれる事件が後を絶ちません。

警視庁の発表によると、2005年1月～11月に発生した犯罪件数173万5,826件のうち、子どもが被害者になった件数は30万4,216件にのぼり、全体の17.5%を占めています。(出典：警視庁『平成17年(1月～11月)の犯罪情勢』)

また、文部科学省の発表によると2004年3月31日現在、学校への不審者の侵入を防止するための対応を行っている・対応を予定している学校(全国)は、小学校98.6%、中学校98.2%、高校98.0%となっており、いずれも高い割合で、防犯対策をしていると言えます。(出典：文部科学省『学校の残全管理の取り組みに関する調査結果』)

防犯対策が必須となってきている今、母親が感じていることを、調査しました。



調査概要

調査対象：全国の小中高校生のいずれかの子どもを持つ母親600名

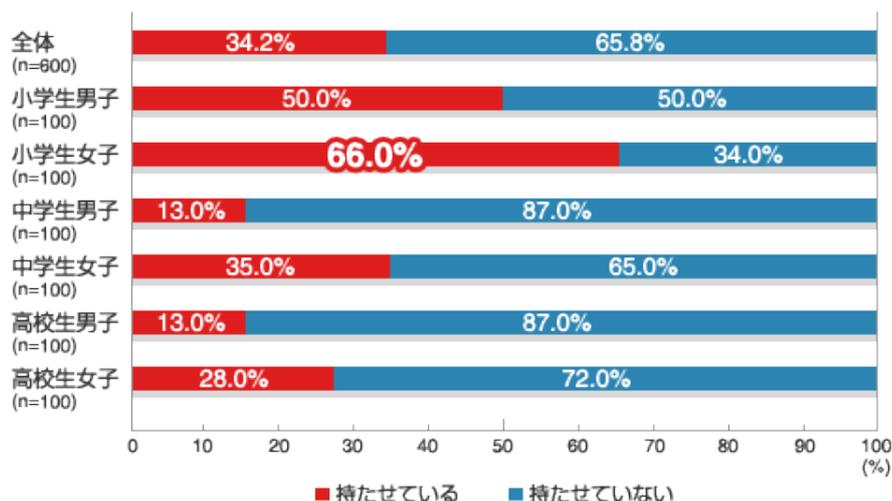
調査方法：インターネットリサーチ

実施時期：2005年12月

Q 子どもに防犯グッズを携帯させているか？

防犯グッズについては、3割強が何かしらのグッズを持たせており、性別で見ると、男子よりも女子のほうが携帯率が高いようです。学校別に見ると、高校、中学校、小学校と年齢が下がるに連れて携帯率が高くなっていることがわかります。

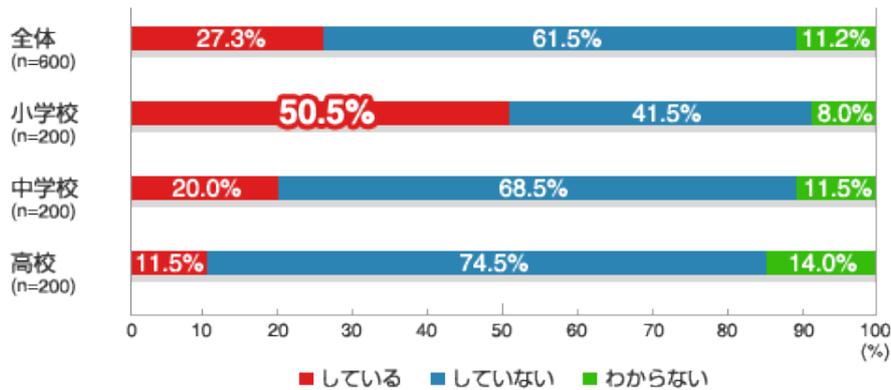
防犯グッズを携帯していない小学生女子の母親に、携帯していない理由を聞いたところ、「欲しいが値段が高い」という回答が最も多く、防犯グッズを携帯はしていないものの、必要性は感じているようです。



【図1】子どもに防犯グッズを携帯させていますか？(単数回答)

Q 地域で登下校時の防犯対策をしているか？

全体で見ると、約3割が対策をしているようです。小学校では、5割以上が対策をしており、意識の高さが伺えます。それに對し、中学校では2割、高校では1割程度となっており、地域を巻き込んだ防犯対策は行き届いていないようです。



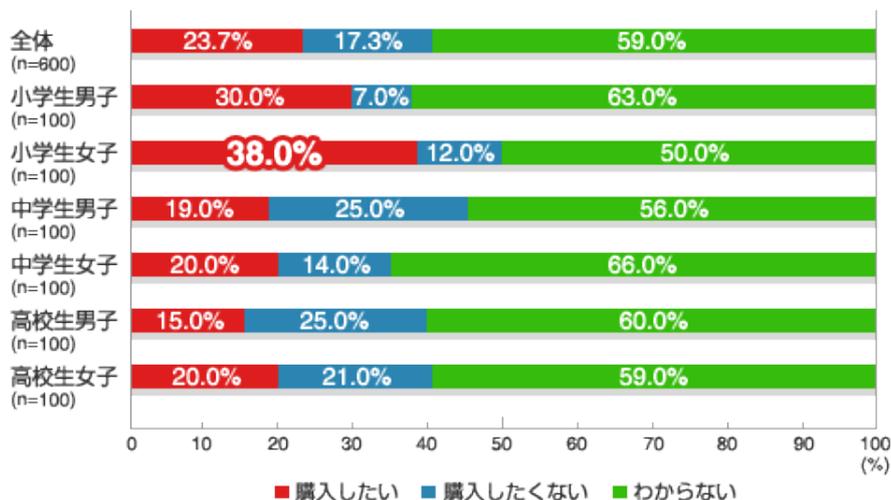
【図2】地域で登下校時の防犯対策をしていますか？(単数回答)

Q GPS機能付制服を買いたいと思うか？

GPS機能付制服を買いたいと思っている母親は、全体で2割強でした。

今回の調査にご協力いただいた中では、小学生の制服導入率が19.5%だったにも関わらず小学生の母親でGPS機能付制服を購入したいと回答した人が34%いました。

性別で見ると、女子のほうが購入意向が強いことがわかります。



【図3】GPS機能付制服を買いたいと思いますか？(単数回答)

🏠 まとめ

今回の調査では、母親の防犯に対する意識が全体的に高いことが読み取れました。特に、小学生の母親の防犯に対しての意識は非常に高く、子どもの心配をする母親の気持ちが伺えます。

o z a k i では、スクールウェアを通じて、現在の不安な情勢でも毎日楽しい学校生活を送ってほしいという思いから、様々な防犯グッズを取り扱っています。母親の心配を1つでも多く解消していきたいと思えます。



毎月最終
火曜日
更新

kanko ホームルーム ～学生を読み解くデータ集～

kanko ホームルームは、学生を取り巻く環境や子どもたちの意識・ライフスタイルについて、多角的に調査・分析し、その結果をお届けしています。

ホームページでは、今回ご紹介した調査データ以外にも様々な情報を掲載しております。

<http://ozaki.jp/homeroom/>